

おとり豚検査

目的	ステージⅢ（安定）からⅣ（清浄化移行）への移行前の確認検査 繁殖豚群でウイルス排泄がなく、環境中PRRSウイルスの残留有無を おとり豚により確認する	
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ おとり豚 【条件】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4～6ヶ月齢のギルト ・ 検疫舎で1ヶ月飼養しELISAおよびPCR法で陰性を確認していること ・ 1棟あたり3頭 	
手順	<ol style="list-style-type: none"> ①おとり豚を繁殖豚舎の空いている豚房又はストールに移動する ②繁殖豚群と接触させるために、おとり豚を1ヵ月間、毎日、豚舎内通路を自由に歩かせる <ul style="list-style-type: none"> ・ 人のいる時間のみ実施（人の目の届かない時間は収容場所に戻す） ・ ストールの場合は、豚の頭側の通路を歩かせる ・ おとり豚が体調を崩した場合には通路を歩かせることを中止し、検査を行う ③接触期間中、1週間ごとに1回（計4回）検査を実施 ④結果に応じて対応 	
検査	ELISA PCR法	頻度：実施期間1ヵ月中、毎週（計4回） 検体：血液または口腔液（ロープ法） 頭数：3頭全頭（ロープ法では3頭以上確実に噛んでいる事を確認する）
タイムライン	<p>The timeline diagram illustrates the experimental procedure. It starts with 'おとり豚 検査開始' (Start of piglet inspection) and '隔離検疫舎' (Isolation quarantine facility) for a duration of '1ヵ月' (1 month). This is followed by '検査 PRRS陰性確認' (Check for PRRS negative confirmation). Then, the piglets move to the '繁殖豚舎' (Breeding pig house) for a '接触期間(1ヵ月)' (Contact period of 1 month). During this contact period, there are four weekly checks labeled '検査 1週目', '検査 2週目', '検査 3週目', and '検査 4週目'. A vertical line marks the '繁殖豚群と接触開始' (Start of contact with breeding pig group).</p>	
結果と 対応	PCR陽性 または ELISA陽性	ステージⅡにステップバック、おとり豚全頭を隔離
	PCR陰性 かつ ELISA陰性	ステージⅣへステップアップ、おとり豚は繁殖に用いる
改訂：2018年4月14日		©P-JET

P-JET

サンプリング
マニュアル

環境モニタリング

おとり豚検査

準備中

参考写真1 (手順①)

おとり豚は通常は、繁殖豚舎のストールなどに収容しておく



参考写真3 (手順②)

繁殖豚舎内にある群飼豚房の豚にも通路から接触できるように歩かせる



参考写真2 (手順②)

おとり豚を母豚の頭側通路に自由に歩かせて、既存の繁殖豚と接触させる

※写真の無断転載を禁止します

写真提供：
有限会社サミットベテリナリーサービス
渡部佑悟先生



PRRS撲滅推進チーム
JAPAN